混声合唱団ソレイユ OB 総会開催報告

2016 年 7 月 24 日（日）に混声合唱団ソレイユ OB 総会を、京都ロイヤルホテル&スパ青雲の間にて午後 1 時より開催しました。OB51 名、現役の学生が 9 名の計 60 名の参加です。



まず今回の OB 総会の発起人代表の昭和 46 年卒田中作司氏から開会挨拶があり、総会審議に入りました。今回の議題は、前回の OB 会の開催報告、現役クラブへの支援のあり方、今後の OB 総会の開催予定などがあり、満場一致の拍手でもって承認されました。懇親会は来賓の校友会会長の島谷直見氏の挨拶により始まりました。島谷氏自身が学生時代外大の能楽部であり、部室もソレイユの向かい側にありましたので、ソレイユの事をとても懐かしく思っておられた様子でした。その後現役の活動報告では、ここ 10 数年に渡って混声合唱団ソレイユがどのような経緯を経て現在に至っているかの詳しい説明と今年度のソレイユの活動予定についての報告がありました。





乾杯の後、しばしの食事歓談を経て、現役の演奏です。混声４部に編曲された京都外大の学歌と混声合唱のための『方丈記』から「夜もすがら」の２曲の披露です。現役は９人と大変少ない人数ですが、少人数とは思えないほど声量もあり、練習を積んで歌いこんでいる様子が伺える素晴らしい演奏が披露されました。その後はOB各々が約１分程度の自己紹介のスピーチです。皆さん、このOB総会で学生時代を懐かしみ、それぞれの先輩や後輩に会う事をとても楽しみにしている様子がわかるとても和やかなお話しばかりでした。スピーチが終わると現役、OBとの合同合唱の時間です。歴代のソレイユの愛唱歌である混声合唱組曲『蔵王』の「早春」や混声合唱組曲『筑後川』の「河口」など４曲を歌いました。現役の学生は、普段少人数で合唱をしているので、大勢で歌うのには少々、戸惑いもあったようですが、この合同合唱をとても楽しんでいたようです。最後は出席者全員で記念写真を撮り、あっという間に３時間近く過ぎ、祇園祭の後祭りの熱気とOB、現役の活気があわさって、終始明るく、賑やかで楽しい雰囲気のOB総会となりました。




Soleil
KYOTO UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES